

雲仙治山だより

発行・連絡先 / 長崎県島原振興局農林水産部林務課

〒855-8501 長崎県島原市城内1-1205 電話 0957-63-5073

令和3年(2021)年

7月発行

(vol.6)

令和3年度 防災対策現地視察(水無川流域治山事業)で説明

梅雨期を前に島原市主催による防災対策現地視察が、5月13日、市長をはじめ防災関係機関(雲仙砂防管理センター、長崎森林管理署、警察、消防、島原振興局)約50名が参集し、眉山や水無川流域の砂防・治山事業、白水川下流の高潮対策の現状を確認し、災害発生時の迅速な連携・対応に役立てようと開催されました。

島原振興局林務課では、水無川流域の治山事業について、令和2年度に実施した観測結果の報告、航空実播工について説明しました。

また、本年度実施予定として、航空実播工(令和2年度施工地の追肥)、雲仙地区治山対策検討委員会の提言を踏まえ、赤松谷本流、極楽谷、炭酸水谷における観測・調査を引き続き実施し、それらの情報発信を通じて「地域の安全・安心に寄与していく」ことを説明しました。



林務課長より市長および関係者への説明

赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷における観測・調査を実施

～土石流の発生は確認されていません～

今年の梅雨入りは、平年より 20 日早い、5 月 15 日ごろと発表されました。この日以降、6 月末までの雨量は、5 月 12 日から 5 月 21 日までの連続雨量 306.5 mm、5 月 20 日の時間雨量 35.5 mm が最大となっています。

第一四半期の定期観測・調査として 6 月 25 日、長崎県農林技術開発センターと連携し、赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷についてドローンで空撮（写真 1）を実施し、各溪流の変化を確認しました。

また、今回は、極楽谷・炭酸水谷の状況を直接目視するため、最上流にある第 7 号治山ダム（写真 2）から約 250m 上流の極楽谷・炭酸水谷の合流点（写真 3）、さらに約 1,200m 上流の炭酸水谷（写真 4）について確認しました。

その結果、全体的に谷の深さが、約 10～20m 程度で、一部斜面が崩れたところがありましたが、溪流内には植生が確認されるなど、昨年度の観測・調査結果のとおり、土石流の発生など大きな土砂移動の形跡は確認されませんでした。

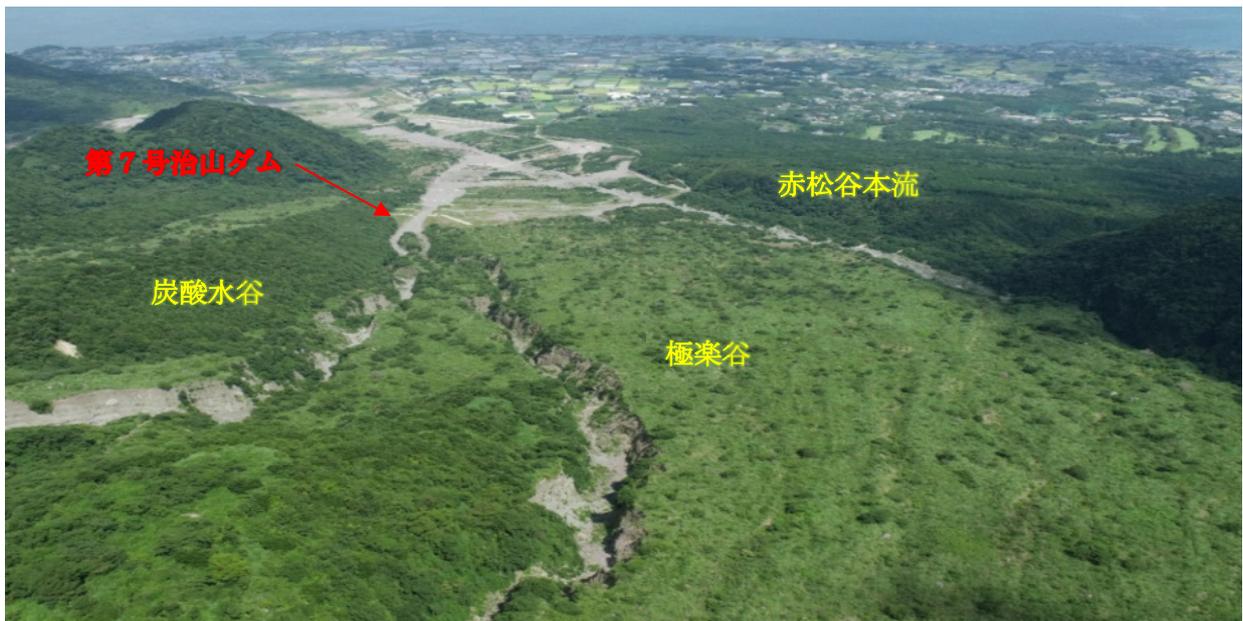


写真 1：赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷の状況



写真 2：第 7 号治山ダムの安定状況



写真 3：第 7 号治山ダムから約 250m 上流部



写真 4：第 7 号治山ダムから約 1,200m 上流部